

平成22年度一般会計補正予算(第5号)賛成多数で可決

一般会計予算補正額

// 補正後

5億7、191万4千円
147億8、559万3千円

国民健康保険特別会計	35億8、569万2千円
国民健康保険診療所特別会計	8、227万9千円
老人保健医療特別会計	1、415万6千円
後期高齢者医療特別会計	3億2、545万7千円
簡易水道特別会計	368万1千円
下水道事業特別会計	9億6、641万5千円

予算委員会の 主な質疑

総務企画部

元氣かんざき市民交流祭補助金について



元氣かんざき市民交流祭の駐車場に予定される
神埼中央公園グランド

議員 駐車場の確保は十分か。

政策推進室長 1000台分の確保を予定している。駐車場予定地である神埼中央公園グラウンドだけでは1000台に届かないため、追加の場所を探して出来るだけ多く確保したい。

議員 メインステージはじめ、広いスペースが確保できるのか。

政策推進室長 ステージの場所は駅北口の有料駐車場を利用できないか検討している。駅南側にイベント企画はないが、骨董市を考えている。駅南側から国道34号線までの道路は歩行者天国にしたいと検討している。

議員 花火には経費がかかると聞いているが、予算は足りるのか。

政策推進室長 800万円の予算内で、花火大会については100〜150万円の予算を考えている。今回の目玉イベントとしては是非実施したいと考えている。

議員 市内全域から多く参加してもらうため、臨時巡回バスを運行するのか。その場合、ダイヤの周知を確実にやってもらえるのか。

政策推進室長 シャトルバスについては千代田、脊振への運行について十分に検討したい。ルートやダイヤについても各地区と相談させて頂き、決定後は市民への周知を徹底したい。その他の意見として

・市の経済状況が厳しい中、地元意義のあるものとなる施策

9月定例会は、3日から22日までの20日間開催され、一般質問には、17名登壇しました。一般会計補正予算については、①元氣かんざき市民交流祭補助金②一般会計決算上剰余金（純剰余金）処分③西郷保育園改築事業費④神埼町老人憩いの家建替検討委員会委員報償費⑤経営体育成交付金（融資主体型補助事業）⑥農地・農業用施設災害復旧費⑦神埼市地元購買力推進券事業⑧道路橋梁新設改良費⑨千代田西部小学校グランド立木・工作物等移設工事など、7月豪雨に伴う災害復旧及び懸案事項が提案され、各委員会などで慎重審議され可決された。

に税金を投入するように熟慮すべきである。

・高齢者や幼児を連れた来場者に配慮した車道や駐車場の配置にしてほしい。

・交流祭が成功することで、各地区で行われている行事がなくなってしまうのではないかと危惧される方もいるので、そういった方々にも参加して頂けるよう導く必要がある。

・目標とする1万人が来場した場合の安全対策を万全にして臨んでほしい。

市民福祉部

西郷保育園改築事業について

議員 脊振産の木材はどの程度使用されるのか。また、県産材の使用に対しての補助金申請手続きは進められているのか。

福祉事務所長 担当課と協議しながら事務手続きを進めたい。

議員 工期の遅れについての保護者説明会では、どのような意見が出されたのか。



改築が待たれる西郷保育園



福祉課長 「もう少し早く教えてほしかった」「保育園と福祉課が連携をとりながら保護者にも随時伝えてほしい」などの意見を多く頂いた。

その他の意見として

・木材の柱が持つ温かみを感じられるように今後建設予定の建物も含め、柱材の使用も検討してほしい。

児童扶養手当について

議員 母子・父子家庭にて手当を受けるための収入の上限額はいくらなのか。

福祉課長 税法上の扶養が一人の場合、本人の所得の上限額は230万円、収入額で言えば300万円程度となる。所得の上限額は扶養人数によって変わる。

平成22年度神崎市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について

議員 国保税は世帯主に請求書が通達されるが、世帯主が国保加入者ではない場合でも支払い義務があるのか。

市民課長 市の条例で世帯主に課税することになっているので納税義務がある。

産業建設部

神崎市地元購買力推進券事業について

議員 地域の活性化を図るため

には、商店の事業費負担をなるべく軽減し、事業規模を大きくして取り組む必要があるのではないかと。

産業建設部理事 商工会及び地元商店と協議を行い、10%のプレミアム分のうちの1%と事務費を地元負担とすることを踏まえ発行額を決定した。残りのプレミアム分は市で負担することになる。

